

キーパー財務 13 (Ver5.0.0) 主な変更点

(1) 同一日付内の仕訳の移動(並べ替え)に対応しました。

日付が同一の場合、仕訳の並びは入力順が原則ですが、[日常処理-仕訳帳]に新たに追加された「仕訳並替」ボタンを利用すると任意の順番で並べ直すことができます。現金残高をマイナスにしないため入金を先にする場合や、入力漏れを後から追加したのが原因で一連の仕訳なのにもかかわらず1仕訳だけ離れてしまった場合などにご利用ください。

The screenshot shows the '仕訳帳' (Journal) window. A red box highlights the '仕訳並替' (Sort Transactions) button in the top toolbar. A red circle with the number '1' is placed over the '仕訳並替' button. A red box with the text '移動させたい仕訳を選択して「仕訳並替」を押す。' (Select the transaction you want to move and press 'Sort Transactions'.) is overlaid on the transaction list. Below the main window, a smaller window titled '同日付内の仕訳の並べ替え' (Sort Transactions within the Same Date) is shown. It has a table with columns for date, journal code, name, department, and amount. A red circle with the number '2' is placed over the '上へ' (Up) and '下へ' (Down) buttons. A red box with the text '「上へ」又は「下へ」で仕訳の位置を移動させる。' (Move the position of the transaction using 'Up' or 'Down'.) is overlaid on the table. At the bottom of the window, there are function keys: F3:借方含む (F3: Include Debit), F4:貸方含む (F4: Include Credit), and F12:閉じる (F12: Close).

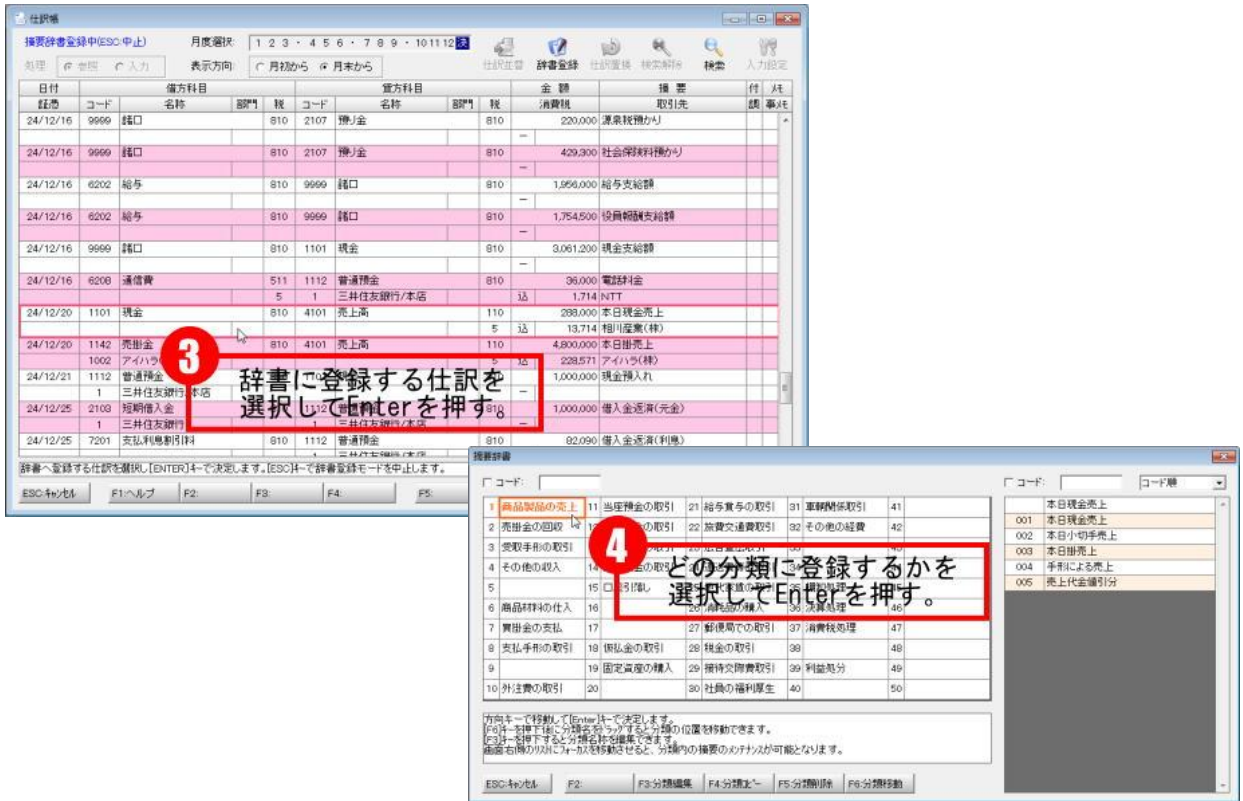
- ☑ 「F3:借方含む」又は「F4:貸方含む」をクリックすると、並べ替え対象の仕訳と同じ科目を使った仕訳が強調されるので、元帳での並び順が一目で分かり、並べ替えがしやすくなります。

(2) 仕訳帳から摘要・取引先辞書が登録できるようになりました。

キーパー財務には摘要や取引先を選ぶだけで入力が完結する自動仕訳入力が標準搭載されていますが、これまでは当期の入力を行いながらその都度摘要・取引先辞書を作成していく必要がありました。

しかし、今回のバージョンアップで追加された[日常処理-仕訳帳]の「辞書登録」ボタンを利用すると、入力済み仕訳から摘要・取引先を連続して辞書登録できます。当期の仕訳はもちろん、過年度仕訳(前期・前々期の仕訳)も辞書登録の対象にできますので、前期の仕訳から辞書を作れば、当期の入力がより一層効率的に行えます。

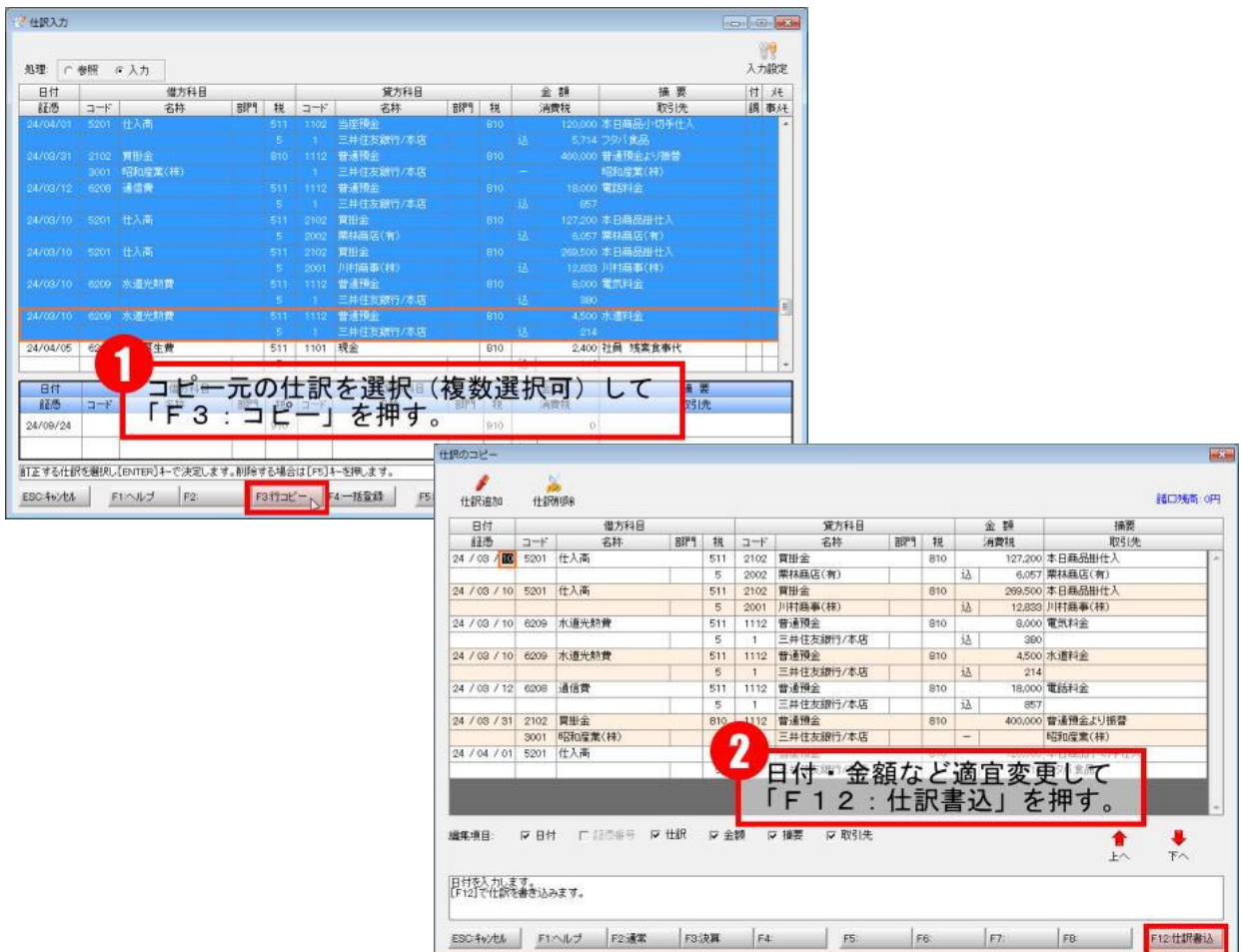
The screenshot shows the '辞書登録先を選択' (Select Dictionary Entry) dialog box. A red circle with the number '1' is placed over the '辞書登録' (Register Dictionary) button in the top toolbar. A red box with the text '「辞書登録」を押す' (Press 'Register Dictionary') is overlaid on the button. The dialog box has two radio buttons: '摘要辞書に登録する' (Register to Summary Dictionary) and '取引先辞書に登録する' (Register to Vendor Dictionary). A red circle with the number '2' is placed over the '摘要辞書に登録する' radio button. A red box with the text '「摘要辞書に登録する」又は「取引先辞書に登録する」を選ぶ。' (Select 'Register to Summary Dictionary' or 'Register to Vendor Dictionary'.) is overlaid on the radio buttons. Below the radio buttons, there is a text box with the text '辞書登録モードで入力した仕訳に同じ摘要辞書に連続して登録が行われます。登録済みの仕訳から摘要辞書を作成する場合には選択します。' (When entered in dictionary registration mode, the same summary dictionary is registered continuously. When creating a summary dictionary from already registered transactions, select it.) At the bottom of the dialog box, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.



(3) 仕訳のコピー機能を強化しました。

入力済みの仕訳を流用して追加仕訳を入力する仕訳のコピー機能を強化しました。〔日常処理-仕訳入力/仕訳帳〕で「F3:コピー」ボタン押下)

当期の仕訳はもちろん、過年度仕訳(前期・前々期の仕訳)をコピー対象とすることもできます。取引量が少なく前期と内容がほぼ同じなら、去年の仕訳を元に日付と金額を訂正するだけで簡単に入力が完了します。



(4) 入力画面に諸口残高を表示するようになりました。

入力中に諸口残高が確認できるよう、諸口の残高を表示するようになりました。
通常の仕訳入力画面は右下に、一括入力辞書を使った入力画面では右上に表示します。

The top screenshot, titled '仕訳入力画面', displays a table of journal entries. The columns include '日付' (Date), '借方科目' (Debit Account), '貸方科目' (Credit Account), '金額' (Amount), and '摘要' (Description). A red box highlights the value '-60,000円' in the '諸口残高' (Balance) column.

The bottom screenshot, titled '一括入力辞書画面', displays a similar table for batch input. A red box highlights the value '-60,000円' in the '諸口残高' (Balance) column.

(5) データにパスワードが設定できるようになりました。

[初期設定-基本設定] に「パスワード」欄を設けました。
「データ選択」画面でパスワード付きデータを選択すると、「パスワードの確認」画面が開きます。他のオペレータが見ることのできないデータを作る場合にご利用いただけます。

The left screenshot, titled '基本設定' (Basic Settings), shows a form with fields for '名称・期間' (Name/Period), '集計項目名' (Summary Item Name), and '製造原価' (Manufacturing Cost). The 'パスワード' (Password) field is highlighted in red and contains '***'. There is a checkbox for '伏字にせず入力' (Do not use asterisks for input).

The right screenshot, titled 'データ選択' (Data Selection), shows a table of data with columns 'No.', 'コード' (Code), 'データ名' (Data Name), '会計年度' (Fiscal Year), and '会計' (Accounting). A dialog box titled 'パスワードの確認' (Password Confirmation) is overlaid, asking the user to enter their password. The dialog box contains the text 'パスワードを入力して下さい。' (Please enter your password.) and a checkbox for '伏字にせず入力' (Do not use asterisks for input). Below the input field, it says 'パスワード(英数字8文字以内)を入力し、[OK]ボタンを押して下さい。3回続けて失敗すると「データ選択」画面に戻ります。' (Enter password (within 8 alphanumeric characters), press [OK]. If you fail 3 times in a row, you will return to the 'Data Selection' screen.)

キーパー財務 13 (Ver5.0.0) その他の変更点

◎システム全般

- ☑ Windows8 (32bit/64bit) に対応しました。
※Windows8/Pro/Enterprise への対応となります。(Windows RT は含みません。)
- ☑ 「色選択」ボタンで作成した色が保持されていなかったのを修正しました。
- ☑ 印刷設定画面の白黒印刷を指定した場合、色選択ボタンの縦横線の指定が縦の破線に正しく反映しないケースがあったのを修正しました。

◎ファイルーデータ選択

- ☑ クライアントサーバー方式のデータリストにフォルダの概念を追加しました。(これにより、データリストを法人・個人で区別したり、年度ごとに管理したりすることができるようになっています。)
※1フォルダにつき、最大2000データまで管理できます。



- ☑ クライアントサーバー方式での利用時にも「F2:コピー/貼り付け」が利用できるようになりました。
- ☑ ×ボタンをクリックした場合は確認メッセージを表示した上でプログラム自体を終了するよう仕様を変更しました。
- ☑ 既定値の仮受/仮払消費税を使わず別の科目を特定科目としてを割り当てたデータを「拡張コード体系」保存した場合、「会計データの新規作成」ウィザードでそのコード体系を選んでデータを作成すると、仮受/仮払消費税に補助が登録できてしまっていたので修正しました。
- ☑ スタンドアロン方式でプログラムを起動した場合、ネットワークドライブの割り当てが切れた状態で「共有取得」すると、共有データの「コード」が空欄で「会計年度」が「0期」となるなどの誤表示があったのを修正しました。

◎日常処理ー仕訳入力

- ☑ 連想摘要/取引先辞書の「コード」欄に10桁以上入力するとエラーが出ていたので、入力桁数を5桁までに制御しました。
- ☑ 連想摘要/取引先辞書を開いた状態でキーボードの「F3」キーを押すと、「コード」が「r」で始まる摘要又は取引先に移動してしまっていたのを修正しました。
- ☑ 一括入力辞書の登録画面で「F8:辞書更新」ボタンを複数回押すと、押した回数だけ同じ仕訳が重複して登録されていたのを修正しました。
- ☑ 「F4:一括入力」を使用して入力する場合、一括入力辞書の中で日付を訂正して仕訳の書き込みを行うと、次の仕訳の「日付」欄のカーソルが年月日の「年」のところに置かれてしまっていたのを修正しました。

◎日常処理ー仕訳帳

- ☑ 「仕訳置換」ができなかった場合に、何が問題でできなかったかを列挙したメッセージを表示するようになりました。
- ☑ 仕訳検索で「貸借を個々に指定する」場合に「全て含まない」という選択肢を追加しました。(これにより、借方・貸方に指定した科目を両方とも含まない仕訳が抽出できるようになっています。)
- ☑ 会計期間が1年未満のデータで「F8:印刷」ボタンから「印刷設定」を開き、期間パネルで全期間を選択し直す時、右側の日付欄に期首日付がセットされていたのを修正しました。
- ☑ 科目コード欄に半角カナが入るとエラーが発生していたのを修正しました。

◎日常処理－仕訳入力／仕訳帳

- ☑ 過年度明細(前期・前々期の仕訳帳)からも一括入力辞書への登録ができるようになりました。
- ☑ 「F4:一括入力(一括登録)」で画面左上の「仕訳追加」を押して仕訳を追加する場合、最終行にではなく、現在選択行の上に行が追加されるようになりました。
- ☑ 「F4:一括入力(一括登録)」で画面左上の「仕訳追加」を押して仕訳を追加する場合に摘要優先又は取引先優先で仕訳が追加できるようになりました。また、摘要欄で摘要辞書または取引先辞書を参照することも可能になりました。
- ☑ 「F4:一括入力(一括登録)」に分類のコピー機能を追加しました。
- ☑ 「F4:一括入力(一括登録)」に登録されている仕訳が訂正された場合、「F12:仕訳書込」押下時に一括入力辞書自体を更新するかどうかの確認メッセージが出るようになりました。
- ☑ 「F4:一括入力(一括登録)」で一括入力辞書を登録する際に、分類名が空白のセルを選択するとそのまま分類名が入力できるようになりました。(「F3:分類編集」を押す必要がなくなりました。)また、既に分類名が設定されているセルを選択した場合は確認メッセージ無しでそのまま仕訳の登録画面に進むようになりました。
- ☑ 一括入力辞書画面で「F1:ヘルプ」が押せなくなっていたのを修正しました。

◎日常処理－総勘定元帳

- ☑ 元帳、補助元帳の呼び出しに、検索キーが利用できるようになりました。



- ☑ 「ファイルー環境設定」の「印刷設定(帳票)」タブで、「元帳で1日の最終取引行に残高を印刷する」にチェックを入れると、前行と日付が同一の場合は日付欄を空欄にするようになりました。

総 勘 定 元 帳

株式会社ABC
1101:現金

24年	相手科目		税	摘 要	税
証 憑	コト	科 目			
				繰 越 残 高	
01/03	5201	仕 入	高 511	本日商品現金仕入	810
		1132 其 他	810	固定資産税納付	810
	4101	売 上	高 110	本日現金売上 相川産業(株)	810
	5201	仕 入	高 511	本日商品現金仕入	810
01/04	8103	広 告 宣 伝 費	511	DM発送費用	810
	4101	売 上	高 110	本日現金売上	810
	5201	仕 入	高 511	本日商品現金仕入	810

◎日常処理－仕訳帳／総勘定元帳

- ☑ 印刷物の日付欄を、従来の「年／月／日」から「月／日」に変更しました。
※「年」はタイトルに印字します。

総 勘 定 元 帳

株式会社ABC
1101:現金

24年	相手科目		税	摘 要	税
証 憑	コト	科 目			
				繰 越 残 高	
01/03	5201	仕 入	高 511	本日商品現金仕入	810
		1132 其 他	810	固定資産税納付	810

- ☑ 過年度(前期又は前々期)の仕訳帳・元帳は参照専用のため、「メモ」が付けられないよう制御しました。

◎決算処理—一括印刷

- ☑ 元帳印刷時に、印刷対象科目を通してページ番号を振ることができるようになりました。

◎決算処理—青色決算書

- ☑ 平成24年分の様式より、1面の会計期間がOCR項目に変更されたので対応しました。

◎決算処理—減価償却処理

- ☑ 個人データの場合、事業割合に少数点以下が登録できるようになりました。

◎決算処理—法人事業概況書(資料)

- ☑ 「表面」の「期末棚卸高」がマイナス表示されていたのでプラスで表示するよう修正しました。

◎消費税—消費税申告書修正

- ☑ 付表 2-2 の「課税売上割合が 95%以上の場合⑬」の「旧税率適用分 A」・「税率 4%摘要分 B」の値が表示されていなかったので修正しました。

◎財務分析全般

- ☑ どの行が選択されているかを分かりやすくするため、現在選択セルの科目を色付きで表示するようになりました。

◎財務分析—予実対比損益計算書

- ☑ 赤字同士を比較する場合の増減率の計算方法を変更しました。(予算の利益がマイナス100万、実績の利益がマイナス50万の場合、増減率は150%になります。)

◎財務分析—過年度残高登録

- ☑ クライアントサーバー方式で利用している場合、1000データ以上あると「仕訳取込」を行う際の「選択する過年度データ」のリストに適正にデータが表示されないケースがあったので修正しました。

◎初期設定—基本設定

- ☑ 前期・前々期の仕訳が登録されているデータで期首日付を変更する際に、変更後の会計期間の仕訳が既に前期・前々期に存在する場合は警告メッセージを出力するようになりました。

- ☑ 「製造原価」タブの「製造原価報告書を印刷する」のチェックを外したときに製造原価対象科目の開始残高・過年度残高が登録済みだった場合はメッセージを表示したうえで残高を削除するようになりました。

◎初期設定－科目設定

- ☑ 「印刷設定」タブで科目コードを直接入力した場合に、別の分類の科目が割り当てられないことがないよう修正した。

◎初期設定－コード変更

- ☑ 「補助科目を科目に移動する」で複数の補助科目を一つの勘定科目に置換すると、「置換科目に同じコードが設定されています。科目名は最後に移動した補助科目名がセットされます。よろしいですか?」というメッセージが表示されるが、各仕訳の科目名は元の補助科目名がセットされていたので修正しました。
- ☑ 「科目の使用区分を使用しないにする」の機能を使って、製造原価科目を別の分類へ置き換えても、[初期設定]－[基本設定]の「製造原価報告書を印刷する」のチェックが外せなかったのを修正しました。
※旧バージョンでこの現象が発生していたデータにつきましては[拡張機能]－[仕訳残高修復]を実行するとデータが修復されます。
- ☑ 「本支店コードを変更する」で支店コード「00」が作成されるケースがあったので修正しました。

◎科目内訳－⑩仮受金(前受金・預り金)

- ☑ 画面右側のリストに、取引先に登録されている摘要を表示するようになりました。
- ☑ セットとなる摘要があれば取引先名称が空白でも辞書の登録が行なえるようになりました。

◎拡張機能－摘要辞書設定／取引先辞書設定

- ☑ 分類のコピー／削除機能を追加しました。
- ☑ キーパー財務で新規作成した医療法人データの場合、「本部」に摘要辞書／取引先辞書が登録できてなかったのを修正しました。

◎データ通信－データ送信／データ受信

- ☑ 環境によってはデータの送受信ができないケースがあるので修正しました。

◎データ通信－現金出納帳送信

- ☑ キーパー財務側で現金仕訳を現金以外の仕訳に訂正した場合でも訂正結果がキーパー現金出納帳側に正しく反映できていなかったのを修正しました。

◎キーパー現金出納帳

- ☑ メニューバーに「拡張」を追加し、摘要辞書と取引先辞書をメンテナンスできるようにしました。(辞書の印刷や別名での保存復元が可能になっています。)

